ユーザーテンプレート-[コマンド2]タブを開き、自動補正値を15度から30度に切替えます。
こうすることで、線-連続線コマンドで自動拘束の際には30度単位で線が描けます。
拘束を自由にしても角度入力することで、任意な角度で線を描くことが出来ます。



OK でユーザープロパティ設定を閉じます。登録ボタンを押して設定ファイルを上書きするとドローイングを閉じても、設定が保持されます。



- 3. 寸法線を作図します。平行-直列コマンドを選択します。
- 4. 端点1と端点2をマウスで選択します。
- 5. 角度をテンキーより入力します。(例:-30と入力します。)
- 6. 描く位置(配置場所)を指定してください。

